

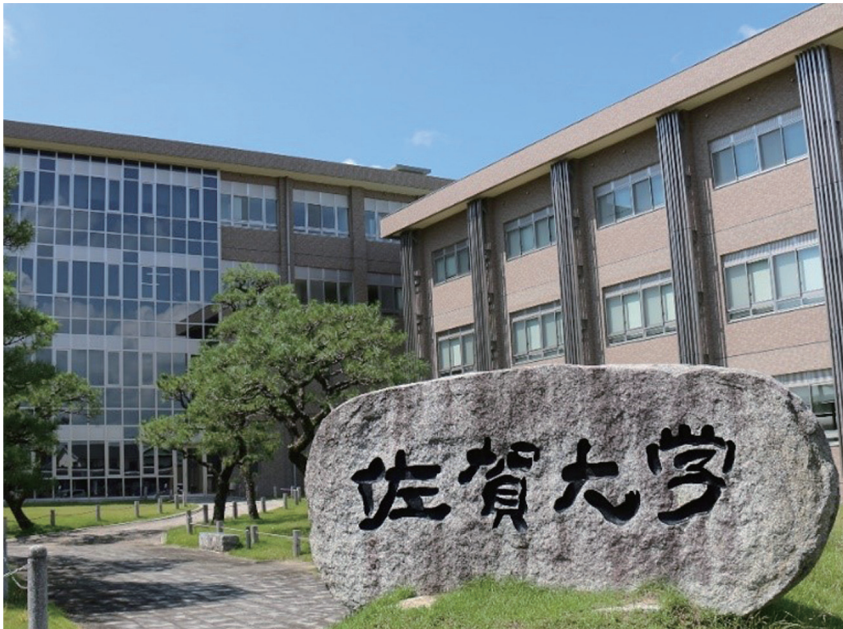
国立大学法人

佐賀大学

SAGA UNIVERSITY



STUDY



RESEARCH



GLOBAL



さまざまな情報にあふれ、様変わりし続ける現代社会。時代に対応するために必要なのは、ジブン自身を成長させること。好奇心から始まる多彩な学び。異文化や多言語と触れ合うことで見つける新しい価値観。多くの人とコミュニケーションを取ることで生まれる無限大の創造力。そんな成長につながる佐賀大学での時間が、最高のジブンへと導いてくれる。年齢も国境も立場も超えて、ジブンらしく輝くために。さあ、一步を踏み出してみよう。

佐賀大学憲章

佐賀大学は、これまでに培った諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。

魅力ある大学	目的をもって生き活きと学び行動する学生中心の大学づくりを進めます。
創造と継承	自然と共生するための人類の「知」の創造と継承に努めます。
教育先導大学	高等教育の未来を展望し、社会の発展に尽くします。
研究の推進	学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の研究を世界に発信します。
社会貢献	教育と研究の両面から、地域や社会の諸問題の解決に取り組みます。
国際貢献	アジアの知的拠点を目指し、国際社会に貢献します。
検証と改善	不断の検証と改善に努め、佐賀の大学としての責務を果たします。

沿革

年代	佐賀大学	佐賀医科大学
大正 9年 4月	旧制時代 官立佐賀高等学校が設置	
昭和 18年 3月	佐賀県師範学校が官立佐賀師範学校に昇格	
昭和 19年 4月	青年学校教員養成所が官立佐賀青年師範学校に昇格	
昭和 24年 5月	旧制の佐賀高等学校、佐賀師範学校、佐賀青年師範学校を包括し、文理学部・教育学部からなる2学部の新制国立大学として発足	
昭和 28年 4月	教育学部に特別教科（美術・工芸）教員養成課程を設置	
昭和 30年 7月	農学部を設置	
昭和 41年 4月	文理学部を改組し、経済学部、理工学部及び教養部を設置	
昭和 45年 4月	大学院農学研究科（修士課程）を設置	
昭和 50年 4月	大学院工学研究科（修士課程）を設置	
昭和 51年 10月		佐賀医科大学が開学
昭和 58年 4月	大学院工学研究科を大学院理工学研究科（修士課程）に名称変更	
昭和 59年 4月		大学院医学研究科（博士課程）を設置
昭和 63年 4月	鹿児島大学大学院連合農学研究科（博士課程）に参加	
平成 3年 4月	大学院理工学研究科を改組し、大学院工学系研究科（博士課程）を設置	
平成 4年 4月	大学院経済学研究科（修士課程）を設置	
平成 5年 4月	大学院教育学研究科（修士課程）を設置	
平成 8年 10月	教養部と教育学部の改組により文化教育学部を設置	
平成 9年 4月		大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称し、修士課程を設置
	国立大学法人 佐賀大学	
平成 15年 10月	佐賀大学、佐賀医科大学が統合し、新「佐賀大学」を設置	
平成 16年 4月	国立大学法人佐賀大学を設置	
平成 28年 4月	文化教育学部を改組し、教育学部、芸術地域デザイン学部を設置 教育学研究科、経済学研究科を廃止し、学校教育学研究科、地域デザイン研究科を設置	
平成 31年 4月	医学系研究科（修士課程）を廃止し、先進健康科学研究科（修士課程）を設置 工学系研究科（博士前期課程）を廃止し、理工学研究科（修士課程）を設置	
令和 3年 4月	工学系研究科（博士後期課程）を廃止し、理工学研究科（博士後期課程）を設置 理工学研究科（修士課程）を理工学研究科（博士前期課程）に名称変更	

佐賀大学ビジョン

今から10年後。社会はどのように変化しているでしょうか。わずか10年ではありますが、第4次産業革命やSociety5.0といった新しい社会の到来に代表されるように、予測困難な時代が続くことは疑いなくでしょう。一方、2017年に120万人だった18歳人口は、2030年に103万人、2040年に88万人まで減少すると予測されています。こうした背景を受け、我が国の高等教育機関は、その果たすべき役割や方向性について将来像を描くことが求められています。

佐賀大学は、2006年に宣言した「佐賀大学憲章」に基づき、「佐賀大学中長期ビジョン」（2008～2015年）、「佐賀大学改革プラン」（2015年～）のもとで、第1期から第3期の中期目標・中期計画を遂行してきました。高等教育を取り巻く状況が急激に変わろうとするなか、2030年までの10年を見据えたビジョンは、2022年度から始まる第4期中期目標・中期計画の策定の土台となるものであり、高等教育機関として佐賀大学が進むべき「これから」を示す羅針盤となります。

ビジョンの骨格は、『教育』『研究』『社会貢献』『大学運営』の4領域です。これらに共通する重要な点は、予測困難な時代を生き抜くことができる“強い佐賀大学”となるための本質的で主体的な改革です。他律的な政策に拘泥し、手段が目的化することなく、本学が抱える課題を解決し、さらに発展するための自律的な取組を生み出すことを目指して本ビジョンを策定しました。また、2030年までの国際社会共通の目標として国連で定められた「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」に配慮し、人類が直面する課題にも貢献する意思をビジョンに含めています。

2030年に向けて佐賀大学が目指す3つの大学像があります。1つ目は、学生、卒業生、教職員といった本学に関わる人々が自信を持って誇れる大学です。2つ目は、受験生に限らず学問を追究する人々が本学で学びたいと率先して選びたくなる大学です。3つ目は、企業、自治体、市民等を含む地域社会から本学ならば必ず期待に応えてくれると信頼される大学です。これら3つのあるべき姿に向けて、学生を含む全ての構成員が「志」を持って挑戦し、未来（これから）を創造することで、佐賀大学憲章が謳う理念を実現します。そして、地域とともに未来に向けて発展し続ける大学を目指します。

教育領域

1. 時代のニーズに対応した分野横断型の学位プログラムの構築
2. しなやかな知性を育む教養と「学び続ける力」の修得を目指す教養教育の再構築
3. 総括的・総合的な学びの場を重視した専門教育の在り方の見直し
4. ダイバーシティを背景に多様な学生が互いを刺激し、学び合う場の創造
5. 教学マネジメントによる教育の質保証

研究領域

1. 個々の研究者の自由な発想に基づく基礎研究・応用研究の充実と分野横断的な研究の推進
2. 将来を見据えた新たな研究分野の創出と投資
3. 企業との連携強化による共同研究・ベンチャービジネスの推進
4. 研究者個々の研究力向上に向けた環境整備と次世代研究者の育成

社会貢献領域

1. 地域社会の期待に応える人材の輩出
2. 生涯学習の場としての大学開放
3. 地域課題の解決に資する研究の推進と企業との連携強化
4. 地域における社会生活の維持と人々の暮らしを支援

大学運営領域

1. 「強い佐賀大学」を目指すための持続的な経営システムの構築
2. 教職員が「やりがい」を持って働くことのできる大学の実現
3. ユニバーシティ・アイデンティティを基盤とした佐賀大学ブランドの確立
4. 附属教育研究施設のミッションの見直しとミッション達成に向けた改革の実行



学部等

教育学部

本学部は平成28年、文化教育学部から教育学部に名称変更をしています。これまでの教員養成を引き継ぎ、教育学部は学校教育課程のみの1課程、幼小連携教育コースと小中連携教育コースの2コースに分かれています。幼小連携教育コースには、幼小発達教育専攻と特別支援教育専攻、小中連携教育コースには、初等教育主

専攻と中等教育主専攻を置いています。幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据え、現代社会の変化に伴う様々な教育課題に応えることができる学校教員の養成を目的としています。教員養成を通して、地域社会と協力し、地域社会に貢献する学部を目指しています。

学校教育課程／

幼小連携教育コース、小中連携教育コース



芸術地域デザイン学部

本学部は平成28年に創設された佐賀大学でも新しい学部で、「芸術表現コース」と「地域デザインコース」が設けられ、芸術を究め、芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成を行っています。ここでの芸術とは、作品の創作やモノのデザインだけではなく、種々のキュレーション活動も含んでいます。最近ではまちづくりや

地域おこしを担う自治体やマスコミ、観光業といった分野でアートの視点が求められています。芸術的手法や感性を磨き、人やモノを芸術で結び付け、地域活性化や国際化などに貢献する人材を養成する学部です。平成29年には有田キャンパスが開設され、芸術表現コース有田セラミック分野の学生と教職員が活動しています。

芸術地域デザイン学科／

芸術表現コース、地域デザインコース



経済学部

本学部は、経済学、経営学、経済法学の3つの学科から構成されています。これらの3学科で、経済学、経営学、法学の総合教育を推し進め、社会に貢献する人材を育てます。経済学科では、経済の主要分野である金融、経済政策、国際経済、地域経済を学びます。さらに経営学と法学を学んで、企業に求められる幅広い視野と課題

対応能力を身につけます。経営学科では、経営学の主要分野である会計と企業経営を学びます。さらに経済学と法学を学んで、企業経営に必要な広い視野と課題対応能力を身につけます。経済法学科では、主に法学の科目を学びます。さらに経済学と経営学を学んで、行政や企業に必要な広い視野と課題対応能力を身につけます。

経済学科、経営学科、経済法学科



医学部

本学部の基本理念は「医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうる良き医療人を育成し、もって医学・看護学の発展及び地域包括医療の向上に寄与する」です。この下に、医学科では、医の実践において、強い生命倫理観に基づくとともに広い社会的視野の下

に包括的に問題をとらえ、その解決を科学的・創造的に行うような医師を育成することを、看護学科においては、高い倫理観に基づき健康についての問題を包括的にとらえ、柔軟に解決する実践能力を持った看護職者を育成することを目的としています。

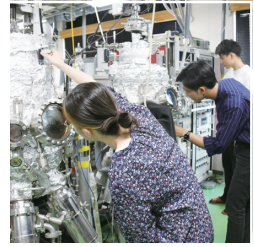
医学科、看護学科



理工学部

本学部は、理工学科1学科の下に理学から工学までを広範にカバーする12コースからなる教育プログラムを設け、入学後に幅広い分野の大学教育に触れながら、自らの適性や関心などに基つき、将来を意識したコース選択を段階的にできる仕組みを導入しています。学生に、自律的に学ぶ姿勢、原理・原則を理解する力、アイデア創出能力、問題発見能力、課題設定能力、

構想力、モデル化能力、課題解決・遂行能力を身に付けさせ、産業構造の変化に柔軟に適應できる幅広い教養とAI・データサイエンスを含む理工学基礎力を土台として、複眼的視点・俯瞰的視野から社会の広い分野で活躍できる科学・技術の専門的素養を持つ人材の養成を目的としています。



理工学科／

数理サイエンスコース、知能情報システム工学コース、情報ネットワーク工学コース、生命化学コース、応用化学コース、物理学コース、機械エネルギー工学コース、メカニカルデザインコース、電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース、都市基盤工学コース、建築環境デザインコース



農学部

本学部は、1学科4コースからなり、持続的食糧生産と環境保全に関する総合科学、生命機能の解明と応用に関する先端科学について学ぶことができます。今、世界は「食料」「環境」「情報」「バイオエネルギー」「地域社会」などの教育研究を必要としています。本学部にはこれらの課題に取り組む様々な研究分野が揃っています。本学部は、「社会的要請に応えるために、

私たちの生活にとって有益な生物の生産・利用と環境保全に係る総合科学である農学の発展にさらに貢献するとともに、人類の繁栄に貢献するために必要な豊かな教養と深い専門知識を備えた人材を育成する」との理念を挙げています。また、本学部は豊かな自然に囲まれ、日本有数の農業地帯に立地しているため、農学と生命科学を学ぶための最適な環境にあります。



生物資源科学科／

生物科学コース、食資源環境科学コース、生命機能科学コース、国際・地域マネジメントコース



全学教育機構

全学教育機構は、全学共通の教養科目として、「大学入門科目」、「共通基礎科目（英語・情報リテラシー）」、「基本教養科目」、および「インターフェース科目」を開講しています。社会との接続を重視する応用的な「インターフェース科目」には、これからの時代に必要とされる知識や技能を育成する「サブスペシャルティコース」を設置し、副専攻として修了証書を授与す

るプログラムとしています。また、外国人教員を中心とする英語による授業「学術英語プログラム（PAGE）」を設けています。さらに、数理・データサイエンス教育プログラムを開設し、学部専門教育を含め、令和3年度から全ての学生が学べるようにしています。これらのうち、基本教養科目を中心に、生涯学習の一環として市民への授業開放も実施しています。



研究科

学校教育学研究科 (教職大学院)

本研究科は、平成 28 年 4 月に新たに設置された専門職大学院です。実践的指導力の育成を目標に、事例研究や模擬授業、長期にわたる実習などの活動的方法によって学びます。理論と実践の往還を原理とするカリキュラムによって、高いレベルの実践力をもつ教員を養成します。授業実践探究コース、子ども支援探究コース(生

徒指導・教育相談系、特別支援教育系)、教育経営探究コースの3つのコースがあります。佐賀大学や他大学の学部からの進学者(ストレートマスター)20名と、佐賀県教育委員会から派遣される現教職員の院生20名が学んでいます。修了生は教員専修免許状を取得できます。

専門職学位課程/教育実践探究専攻/

授業実践探究コース、子ども支援探究コース、教育経営探究コース



地域デザイン研究科

本研究科は、芸術地域デザイン学部と経済学部との連携を目指して開設されました。「芸術デザインコース」と「地域マネジメントコース」の2つの教育研究コースを置き、その中に「芸術」「フィールドデザイン」「経済・経営」の3分野の教育課程を編成しています。学生はいずれかの分野を専攻しながら、他分野の知識や方法論

を学び視野を広げることで、企業や自治体などにおいて活躍できる能力と地域の活性化をマネジメントする能力や自治体、企業等の組織において地域創生を牽引していく独自の視点を得ることができます。修了後にアーティストやデザイナーを志望する学生も受け入れています。

修士課程/地域デザイン専攻/

芸術デザインコース、地域マネジメントコース



医学系研究科

本研究科の基本理念「医学・医療の専門分野において、社会の要請に応える研究者及び高度専門識者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療(地域社会及び各種の医療関係者が連携し、一丸となって実践する医療)の向上に寄与することを

目指す。」に基づき、医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するのに必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識と優れた技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成することを目的としています。

博士課程/医科学専攻/

基礎医学コース、臨床医学コース、総合支援医科学コース



先進健康科学研究科

本学の理工学、農学、医学及び看護学分野が有機的に連携する地域密着型の融合体制により、新時代の産業需要に対応する技術革新と医療及び看護を含む臨床現場での先端技術の総合的応用を目指しています。本研究科では、健康科学分野における先端技術の応用に貢献できる創造性・実践力に秀でたプロフェッショナルな研究者に加え、幅広い領域で「橋渡し」的役割も担

える総合能力の高い人材を養成する。そのために、専門分野に関する高度な知識・技術の習得に加え、科学的思考や洞察力に基づく問題解決能力、異分野の知識や考え方を取り入れた幅広い視点と実践力、さらに研究者としての高い倫理観や知財管理能力の涵養など、先進性と学際性豊かな教育研究を行います。

修士課程/先進健康科学専攻/

生体医工学コース、健康機能分子科学コース、医科学コース、総合看護科学コース



理工学研究科

博士前期課程は、専門分野ごとのコース制を採ることで、教育実施体制を柔軟に構築し、さらに、教育や研究指導において専門分野間の連携を容易に図ることができます。所属するコースの専門分野についての高度な知識や技術を身に付けると同時に、専門分野の枠を越えた内容を自らのキャリアデザインに基づき自主的に学ぶことができます。

博士後期課程は、本学理工学分野の特色・強みを生かした教育研究を実施し、高度な研究活動を通じて培われる問題認識力、課題分析力と判断力、企画立案力を活用して、現場の実務家と協働しつつ現実の課題解決を行い、それを学術及び社会にも反映できる高度実践的リーダーの養成を目指しています。



博士前期課程／理工学専攻／

数学コース、物理学コース、データサイエンスコース、知能情報工学コース、機能材料化学コース、機械エネルギー工学コース、機械システム工学コース、電気電子工学コース、都市基盤工学コース、建築環境デザインコース

博士後期課程／理工学専攻／

数理・情報サイエンスコース、機械・電気エネルギー工学コース、社会基盤・建築デザインコース、バイオ・マテリアルエンジニアリングコース



農学研究科

本研究科は、21世紀の我々人類に課された責務として、食糧問題と環境問題を克服し、地球上のあらゆる生物が共に生存し続けるための生命生存に関する学問・研究を行うことを目的としています。農学を基盤とした人類の生存に必要な食料、環境、資源・エネルギー、経済・社会・文化、生命などに関わる4つのコースを擁して

います。本研究科の使命は、近年の科学技術の高度化・情報化・国際化の中、社会・国際ニーズに応えられる高度な専門知識と技能を持った創造性豊かな農学・生命科学に関する研究者や専門家になる人材を育成することです。



修士課程／生物資源科学専攻／

生物科学コース、食資源環境科学コース、生命機能科学コース、国際・地域マネジメントコース



鹿児島大学大学院連合農学研究科

本研究科は、佐賀大学大学院農学研究科、鹿児島大学大学院農林水産学研究科及び琉球大学大学院農学研究科の教員組織、研究設備及び施設を連合して、3専攻9連合講座による大学院博士課程の教育研究体制を作り、生物生産、生物資源の開発・保全ならびにバイオサイエンスに関する高度な専門的能力と豊かな学識を備え

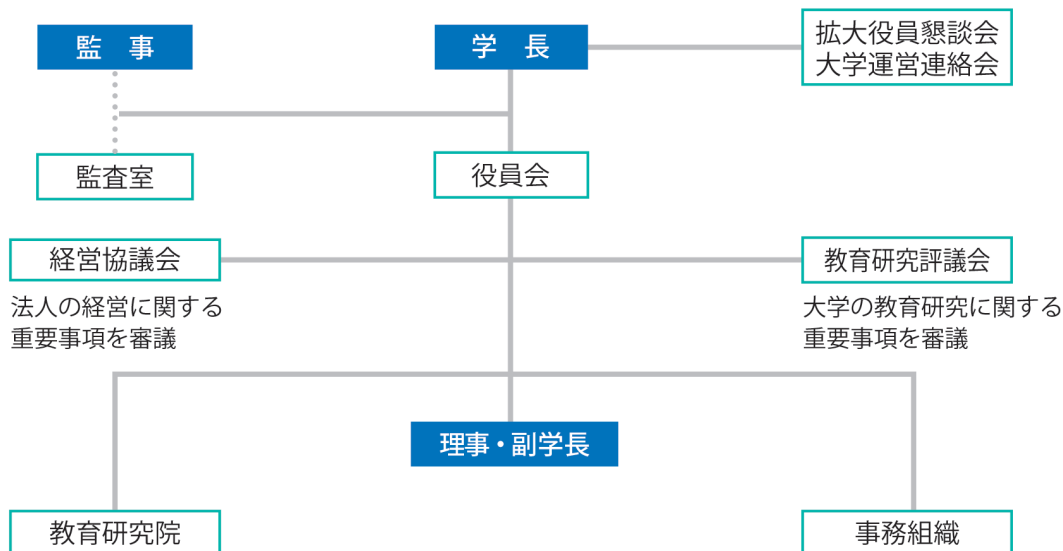
た研究者を養成し、これらの学問分野の進歩と生物関連諸産業の発展に寄与することを目的とした後期3年のみの博士課程です。修了者には、博士（農学、水産学又は学術）の学位が授与されます。



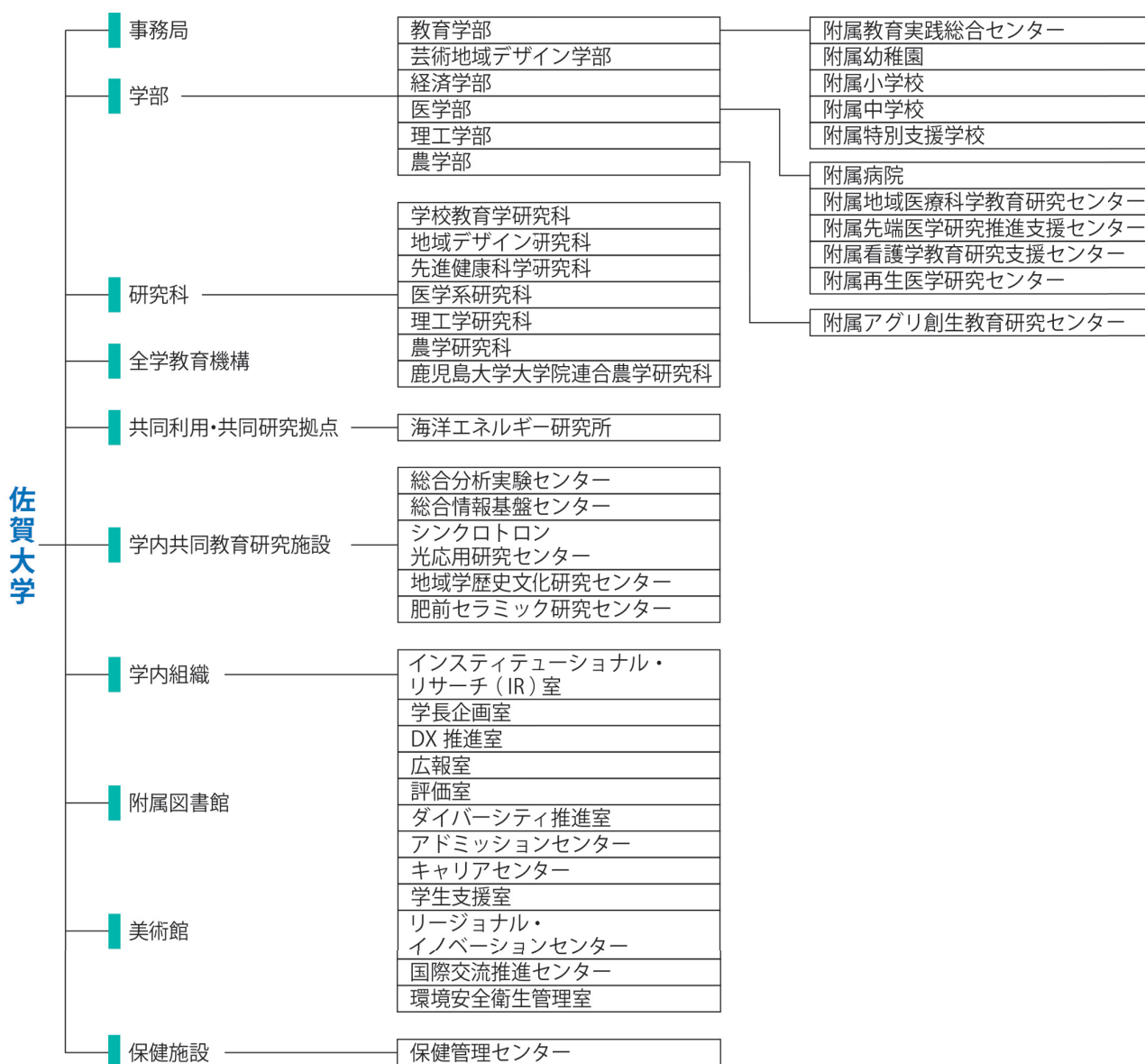
博士課程／生物生産科学専攻、応用生命科学専攻、農水圏資源環境科学専攻



運営体制

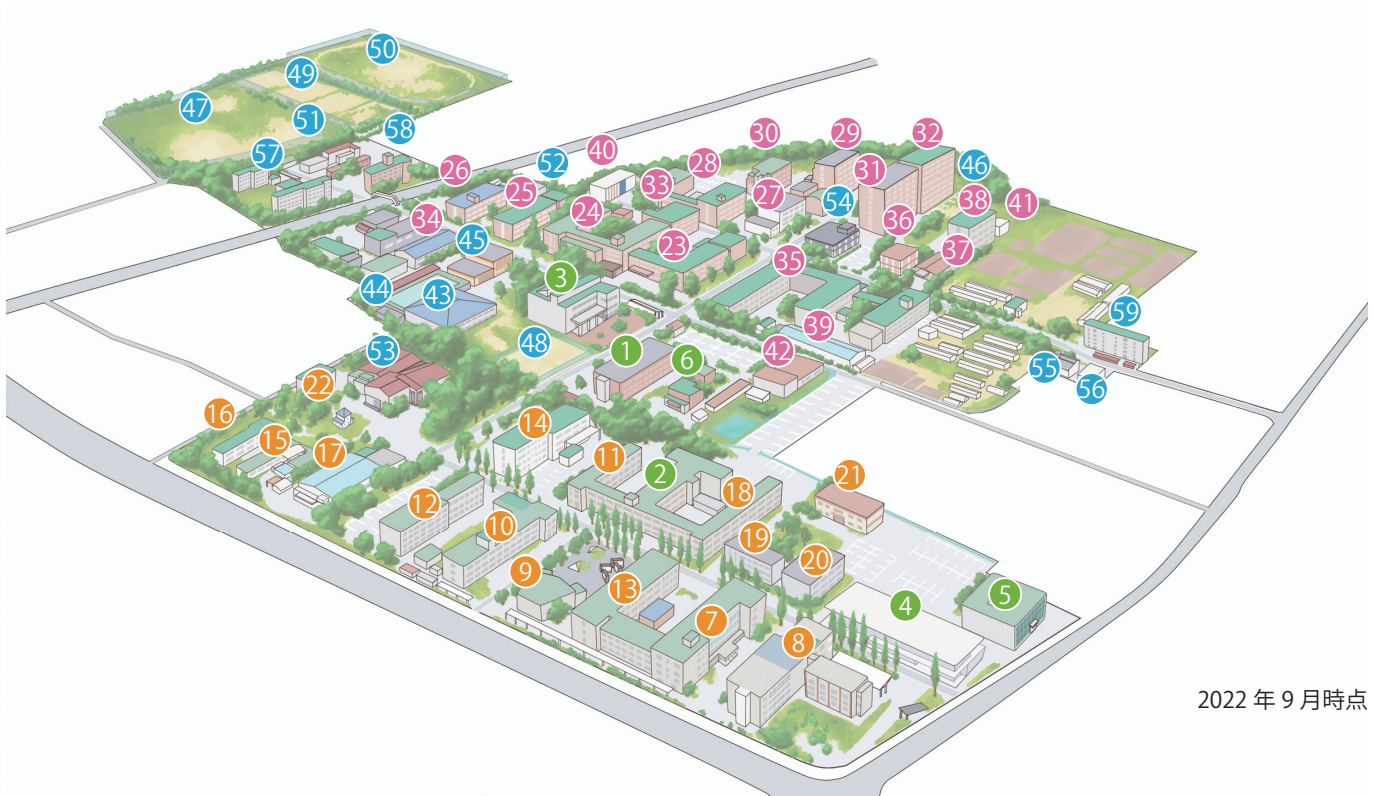


組織図



キャンパスマップ

本庄キャンパス

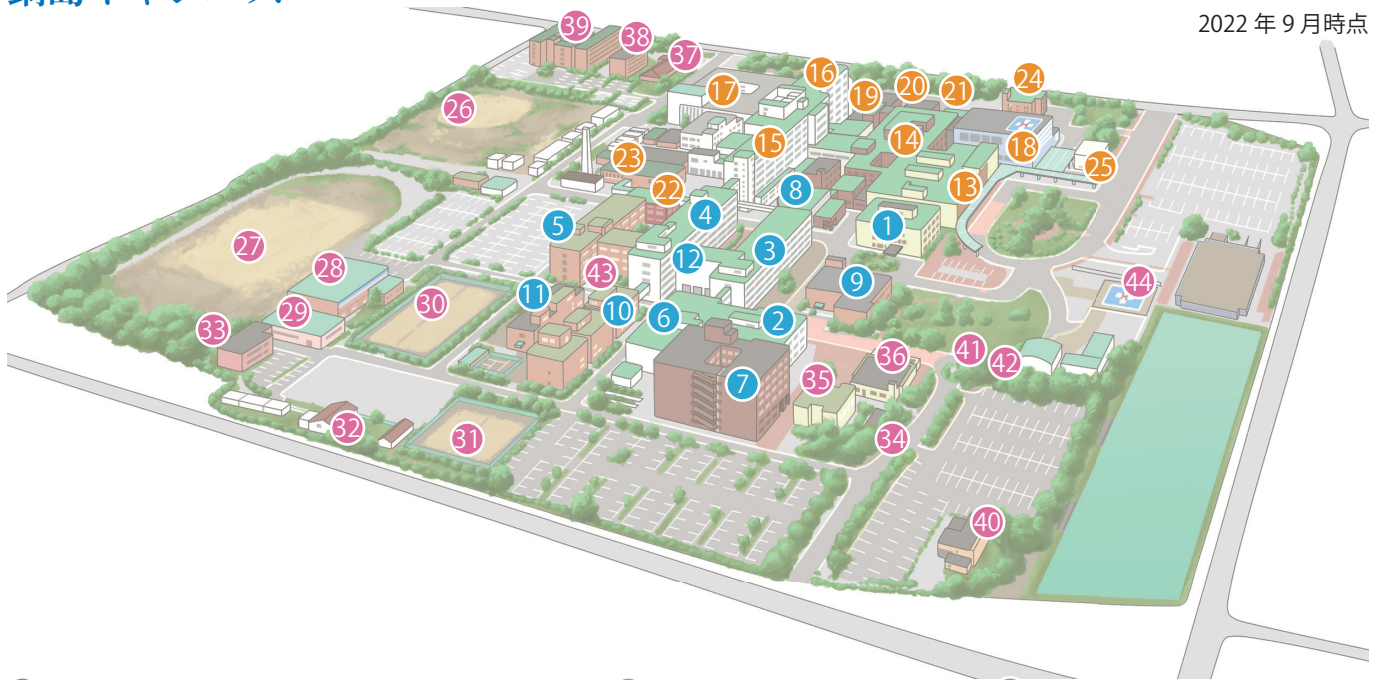


2022年9月時点

- 1 本部
- 2 学生センター
アドミッションセンター
キャリアセンター
総合研究棟
- 3 附属図書館
- 4 美術館
- 5 産学交流プラザ
リージョナル・イノベーションセンター
- 6 保健管理センター
- 7 教養教育1号館
- 8 教養教育2号館
- 9 教養教育大講義室
- 10 教育学部1号館
- 11 教育学部2号館
国際交流推進センター・留学生交流室
- 12 教育学部3号館
- 13 教育学部5号館
教育学部附属教育実践総合センター
- 14 芸術地域デザイン学部1号館
- 15 芸術地域デザイン学部2号館
- 16 芸術地域デザイン学部3号館
- 17 総合研究1号館
- 18 経済学部1号館
- 19 経済学部2号館
- 20 経済学部3号館
- 21 経済学部4号館
- 22 菊楠シュライバー館
(地域学歴史文化研究センター)
- 23 理工学部1号館
- 24 理工学部1号館(南棟)
- 25 理工学部2号館
- 26 理工学部3号館
- 27 理工学部4号館
- 28 理工学部5号館
- 29 理工学部6号館(DC棟)
- 30 理工学部7号館
- 31 理工学部8号館
シンクロトン光応用研究センター
- 32 理工学部9号館
総合分析実験センター
- 33 理工学部大学院棟
- 34 機械システム実習工場
- 35 農学部1号館
- 36 農学部2号館
- 37 農学部3号館
- 38 農学部4号館
- 39 農学部実験棟
- 40 オプティム・ヘッドクォータービル
- 41 海洋エネルギー研究所
- 42 総合情報基盤センター
- 43 体育館
- 44 プール
- 45 スポーツセンター
- 46 弓道場
- 47 野球場
- 48 テニスコート
- 49 テニスコート
- 50 陸上競技場
- 51 第1サークル会館、第2サークル会館
- 52 第3サークル会館
- 53 学生会館・大学生協
- 54 かささぎホール
- 55 菱の実会館
- 56 佐賀大学同窓会事務所
- 57 楠葉寮
- 58 国際交流会館(A・B棟)
- 59 国際交流会館(C棟)

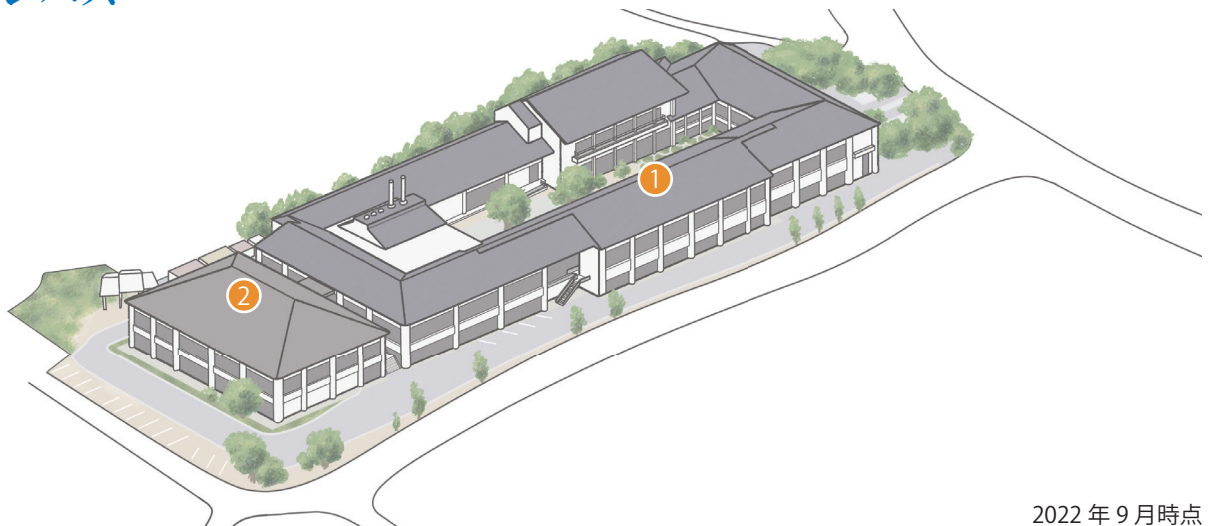
鍋島キャンパス

2022年9月時点



- | | | |
|---|--------------|------------------|
| ① 管理棟
保健管理センター分館 | ⑬ 附属病院外来診療棟 | ⑲ 格技体育館 |
| ② 校舎講義棟
総合情報基盤センター（医学サブセンター）
附属地域医療科学教育研究センター
附属先端医学研究推進センター | ⑭ 附属病院中央診察棟 | ⑳ テニスコート |
| ③ 基礎研究棟 | ⑮ 附属病院西病棟 | ㉑ テニスコート |
| ④ 臨床研究棟 | ⑯ 附属病院東病棟 | ㉒ 弓道場 |
| ⑤ 院生・臨床研究棟 | ⑰ 附属病院北病棟 | ㉓ 課外活動施設 |
| ⑥ 基礎実習棟 | ⑱ 附属病院南診療棟 | ㉔ 学生サークル棟 |
| ⑦ 看護学科棟 | ⑲ RI 治療棟 | ㉕ 医学部会館 |
| ⑧ 臨床講堂 | ㉑ 放射線治療棟 | ㉖ 医学部会館（食堂） |
| ⑨ 附属図書館医学分館 | ㉒ MRI 棟 | ㉗ 保育園（キッズパレット） |
| ⑩ 総合分析実験センター（動物実験施設） | ㉓ 災害支援棟 | ㉘ 医学部宿舎 |
| ⑪ 総合分析実験センター（RI 実験施設） | ㉔ 中央機械室 | ㉙ 看護師宿舎 |
| ⑫ 総合分析実験センター | ㉕ 地域医療支援センター | ㉚ 非常勤講師宿泊施設（思誠館） |
| | ㉖ トリアージ棟 | ㉛ 慰霊堂 |
| | ㉗ 野球場 | ㉜ 慰霊碑 |
| | ㉘ 400Mトラック | ㉝ 動物慰霊碑 |
| | ㉙ 体育館 | ㉞ 地上ヘリポート |

有田キャンパス



- ① 1号館
- ② 2号館

2022年9月時点

アクセスマップ

本庄キャンパス / 鍋島キャンパス



有田キャンパス



佐賀駅からのアクセス

- 本庄キャンパス 佐賀駅バスセンターから市営バスで約 15 分 (約 4 km)
- 鍋島キャンパス 佐賀駅バスセンターから市営バスで約 25 分 (約 5 km)
- 有田キャンパス 有田駅まで電車で 40 分、有田駅から徒歩 15 分

佐賀空港からのアクセス

- 本庄キャンパス タクシーで約 20 分
- 鍋島キャンパス タクシーで約 35 分

福岡空港から佐賀駅へのアクセス (二通り)

1. 福岡空港からバスで 70 分
2. 福岡空港から地下鉄で JR 博多駅へ、JR 博多駅から電車で約 40 分

志、挑戦、そして未来へ

